

葉山の仲間たち

2013年6月25日発行 第15号
NPO法人葉山まちづくり協会
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
町立図書館2階
TEL&FAX 046-876-0421
e-mail: office@hayama-npo.or.jp

オレンジ・ブルー

☎ 046-875-0919

近代美術館にあるレストランのテラスからの景色は絶景。一色海岸と芝崎を見渡し、天気によければ富士山の美しい姿を眺めることができる。(テラスではドリンクのサービスのみ)



CABaN

☎ 046-874-7429

森戸海岸に4月にオープンしたカフェ。海に面したテーブル席はもちろん、ごろんと横になれるソファもあり、思い思いのスタイルでのんびりと過ごすことができる。都会的な雰囲気と葉山らしいのんびりした時間が流れる贅沢な空間。



第13回

葉山まちづくり展

～葉山で学ぶ・楽しむ・守る～

7月5日(金)～7月7日(日)

時間: 10時～17時(最終日16時)

場所: 葉山町福祉文化会館

行こう、まちづくり展!!

まりん

☎ 046-857-6545

四方を湘南国際村・子安の里の豊かな緑に囲まれたレストラン。四季折々の自然を感じることができる。敷地内にはドッグランがあり、ワンちゃん連れでもゆっくり過ごせる。



音羽の森

☎ 046-857-0108

高台にあるので海から吹く風が心地よい。前面に広がる海の碧さと白い建物のコントラストは南フランスのリゾート地のよう。建物裏には遊歩道があるので、食事のあと風景を眺めながらのんびりと散策するのも気持ちがよい。



一景庵

(しおさい公園内) ☎ 046-876-1140

しおさい公園の中にあるお茶処。入園料を払うとお抹茶の割引券がもらえる。緑豊かな公園内には滝もあり、涼しげな音と風が夏の暑さを忘れさせてくれる。



南葉亭

☎ 046-855-0670

子産石のすぐそば。ごろごろ野菜がたっぷり入ったスープカレーは好みの辛さが選べる。正面に海が見えるテラスで、初夏の日差しと潮風をあびながら汗をかきかき頂きたい。



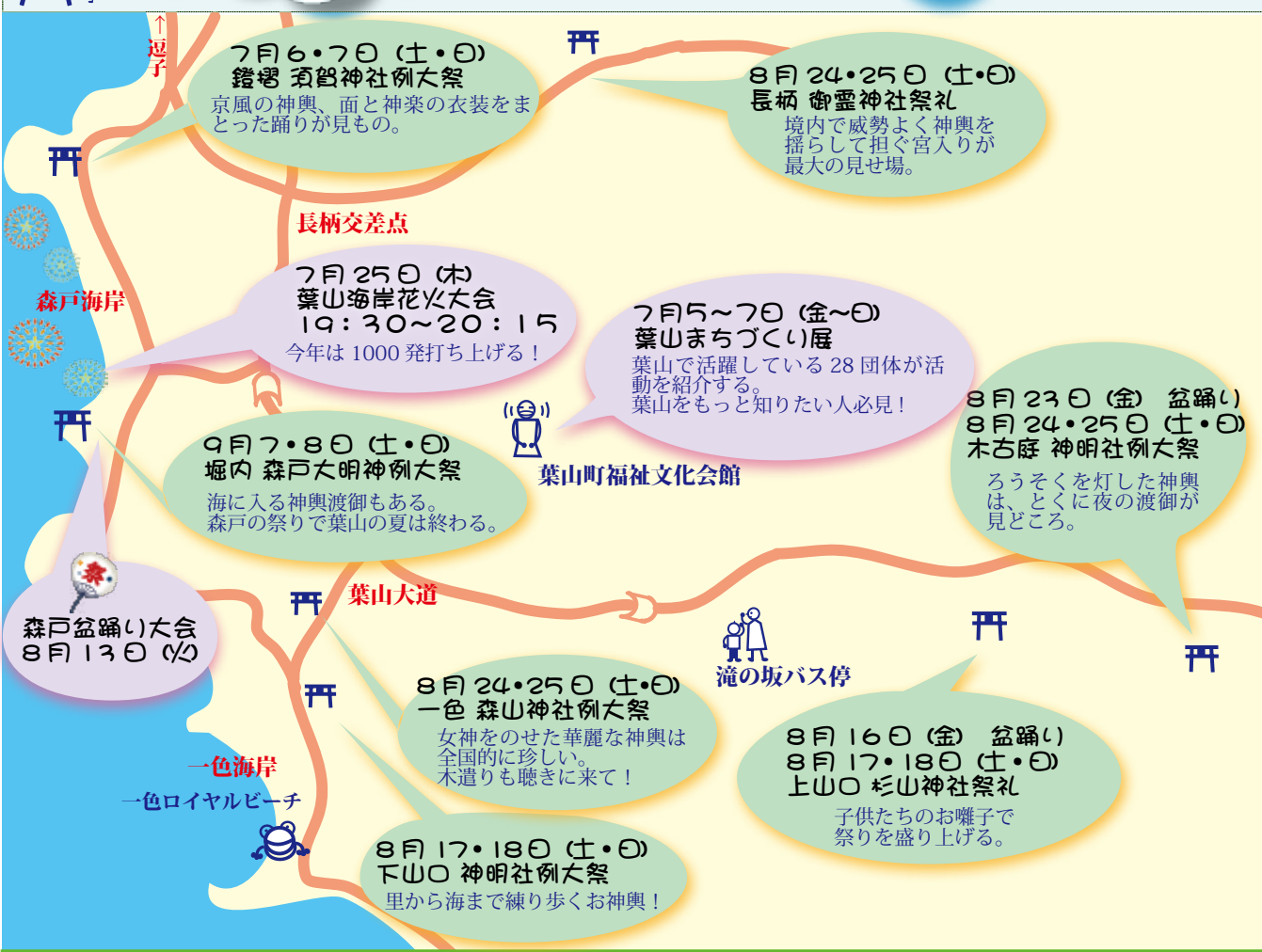
初夏の陽気は心地よい。まだ陽射しも真夏ほど強くない、山や海の香りを含んだ風は爽やかでやさしく頬をなでていく。こんな季節は外に出てテラスでのんびりとした時間を過ごすことをすめたい。豊かな山の緑に囲まれキラキラと輝く海面を見ながら、淹れ立てのコーヒーをじっくりと味わう。そうしているとしばし時間が止まったような気がしてくる。ああここの葉山にあつたのか、こんな桃源郷が... (取材・増岡貴子)

葉山まちづくり協会

葉山夏のお楽しみMAP!

「家族一緒に、お祭り、イベントで盛り上がりよう!」

地元の人々に守られた葉山町七つの神社には伝統の儀式が今も残されている。宵宮には盆踊りや夜店などで賑わい本祭では伝えられた神事に従って祭祀が厳かに催される。葉山の夏は伝統と心意気を感じさせる熱い夏だ。



葉山まちづくり展

7/5(金)～7/7(日)

会場: 葉山町福祉文化会館

◎交流イベント (参加費無料・要予約)



7月15日(月・祝) 10:00～12:30
セイフティオーシャン 2013
「親子海辺の安全教室」

ライフセービングのデモンストレーション、ペットボトルレスキュー体験、レスキューボード、レスキューチューブ、ニッパーボード体験
集合場所: 一色ロイヤルビーチ (一色海岸)
定員: 30組の親子
申込み: オーシャンファミリー 046-876-2287
主催: オーシャンファミリー海洋自然センター



7月13日(土) 9:30～12:00
「上山口地区の文化財巡り」

新善光寺―三島神社―須ノ宮神社―猪俣・岡部両将の墓
一熊野社―日月神社―杉山神社(解散)
集合場所: 滝の坂バス停(逗子行側) 9:30
定員: 20名
締切: 7月10日(水)
申込み: 090-3470-7372 三崎
主催: 葉山町文化財研究会



葉山の散策マップが好評!

4 葉山まちづくり協会

魚のはく製、水のない水族館

一色にお住いの浅井洋司さん（七〇歳）のお宅を訪れて驚いた。

魚のはく製作家と聞いていたが、それを見るまでは想像がつかなかった。なんと、明るいいりびングルームの白壁に魚たちが数匹ずつひとつの額ごとに群れになつて気持ちよさそうに泳いでいるではないか。しかも生きているそのままの鮮明な色で……。



細部まで丁寧につくられている

二〇〇八年から毎年のように夏になると中央紙や地方紙に「魚のアート作品」として紹介されるようになった。

浅井さんの作品は、主に相模湾に棲む見覚えのある魚たちを、まず薄い皮の中身を取り出して、中にプラスチックの粉を詰めて表皮を十分に乾燥させて彩色をし、最後にガラスの目を入れて生き返らせる。魚だけでなく、魚の棲む海中の様子も一緒にひと工夫してアート作品に仕上げる。

大手広告会社でデザイナーとして活躍していたが海が大好きで、とうとう都内から葉山へ86年に移住してしまい、完全に仕事を離れた10年前から本格的にアートとして背景も含めた作品づくりを始めた。



リビングの中を泳いでいるよう

「遊悠楽舎」という子どもたちの居場所

葉山から海側を逗子に向かう途中、渚橋手前を右に曲がると蘆花記念公園の表示の近くに毛筆の看板が見える。「遊悠楽舎」。雰囲気のある文字に惹かれて訪ねてみたのは7、8年前のこと。そこは不登校やひきこもりの子どもたち



蘆花記念公園の一角に

子どもたち

残念ながら一般公開はしていないので、見学者の方は当協会に連絡をください。なお、「葉山まちづくり館ギャラリー」では目下「葉山の海」をテーマに5回に分けてシリーズ展示中で、浅井さんをはじめ、海の漂流物でつくった作品の展示も計画している。詳しくは協会ホームページをご覧ください。



今にもエサを食べそうな表情！

の「居場所」で、長柄桜山古墳群のある山際にひっそりたたずむ日本家屋を拠点に、主宰者の六十歳前後にも見える明石紀久男さん（通称ヒゲさん）と子どもたちが思い思いの時を過ごしていた。

ふらっと立ち寄ると今日もみんな何をすることもなく、それぞれがゆるやかな空気の中にいる。誰をもすくっと受け入れるようなこの居心地のよさはなんなのだろう。秋には色づくたくさんの木々に囲まれた土地のせいもあるだろう。けれど今回、子どもたちの親たちがヒゲさんの語りをまとめた『いのち』からのことづけ」



親たちが渡る世の「虎の巻」と呼ぶ『いのち』からのことづけ

という冊子を手にして、なるほどと合点がいった。それは遊悠楽舎の「その子のいのちにとって必要なものは、その子のいのちの中に用意されている」という確信にあるようだ。立ち止まった後、進むにしろ戻るにしろ方向をかえるにしろ、存分に「想い」を巡らすことのできる時間と場所がある。なにかが起きたら責めを負う覚悟を持った、大きく包んでくれる人が傍らにいる、ここはそういう場所なのだ。でもはじめからそうだったわけではなく、場作りを摸索しながら子どもたちと過ごすうちにこんな「居場所」のかたちが見えてきたのだそう。

自分の子育てを振り返って、ああこんなふうにかかわれていたらどんなにかかったらうと思う。しかしまあ相手は我が子だけではないし、これからだ！ そう思い直して、人との（自分も）、いのちとの向き合い方の原点のようなもの、いつもそこに立ち返れるよう心しよう。この冊子からおおきな励ましをもらったような気がする。

『遊悠楽舎』：090(4244)6093
mail@yuyugakusha.org

老人クラブ『葉山町老連』とスポーツ

葉山町老人クラブ連合会は、「明るく元気な老人クラブ」を基本に活動をしています。昨年度はその活動が評価され、神奈川県代表として厚生労働大臣表彰を受けました。種々の活動をしているなかでとくに健康面を重視して、スポーツ活動は格別に力を入れております。

「春・秋の歩こう会」「健康スポーツ体操」「社交ダンスクラブ」は葉山町の委託事業として町老連が企画運営を担当しています。老人会会員にかぎらず高齢者は誰でも参加できます、随時『広報はやま』で案内をしています。ただし健康スポーツ体操と社交ダンスクラブは少し条件がありますので事前のお問



右：ゆったり上山口の散策を楽しむ「春季歩こう会」
左：華やかな舞を披露する「社交ダンスクラブ」



い合わせが必要です。

さらに、各クラブおよび有志の活動として「ゲートボール」「グラウンドゴルフ」も盛んで町にはそれぞれ協会もあり、町民大会も開催され、そして県大会、横須賀三浦地区大会もあり自慢の腕の見せ所は充分あります。参加を希望される方（若い人でもOKです）は葉山町老連または

葉山の自然から美味しい贈り物

葉山の海にはわかめ、ひじき、テングサ、しらすなど海の幸が豊富である。その中の一つ、寒天の原料となるテングサは赤いチリチリとした海藻で、採ってきたら水洗い↓天日に干し↓みず洗い↓また干す——を赤いのが白くなるまでくり返して作られ、食べるまでには手間、暇のかかる作業である。

葉山の峠の茶屋と言われる日の出園では店内に併設されている「茶房・葉山」で葉山産テングサを使用した手作り寒天の「和スイーツ」あんみつ、クリームあんみつ、甘いものが苦手という人にはところてんが食べられる。これから暑くなる季節にはスーッとしてお勧めである。



つるっ！と召し上がれ♪

寒天は食物繊維が80パーセント、カロリーも低く、ダイエットにも取り上げられる。ヘルシー食材として人気。

この店の寒天は真名瀬の漁師さんが名島付近の海中の岩場で採取した天日で干したこだわりのテングサをたっぷり使った自家製。しこしこ感とこしがある。「普通よりは少し固めに作ってあります」と店主。食すると海藻の香りが残っている。また、最近この店では葉山のしょうがを使用した「葉山しょうがの紅茶」の販売も始めた。蓋を開けるとそこはかとな

くしょうがの香りが漂い健康にもよさそう。この店で使用している長柄のしょうがはすじがなくて香りがよく知る人ぞ知る名産品。最初は地元の人から貰って食べたらその美味しさに魅せられ長柄のしょうがを紅茶に入れることになったそう。

葉山産のアルコール飲料にもユニークなものがある。

上山口の棚田と長柄の水田で育てた酒米から純米吟醸酒「葉山田遊び」、湘南国際村にあるキャベツ畑の春キャベツを使った葉山キャベツ焼酎「カヴォロ」、上山口の棚田沿いにできる白加賀の梅から「葉山ようこそ梅酒」、葉山の天然夏みかんをワインにした「ロイヤル葉山夏みかんワイン」「葉山夏みかんサイダー」もある。

第13回葉山まちづくり展では、葉山の特産物を紹介する「美味しい葉山」を展示予定。

美味しい葉山



葉山の酒好きには見逃せない一品。

相変わらず人気の夏みかんワイン。サイダーも人気上昇中！